

SunSystems Financials

会計システムNews

日本本社主導による在外子会社管理(アジア圏への導入)

今回ご紹介する導入事例は本社が日本でアジア各国（韓国・台湾・シンガポール）に在外子会社がある会社様です。

元々、各国ともに現地のシステムが導入されており、本社から見ると別々の勘定科目や分析コードの基本コンセプトが統一されておらず、連結データの統一性、信頼性に疑問があり、さらに各国からのデータ収集に時間がかかっていました。

今回のプロジェクトではシステム選定の前に、どのように管理していくかということ、日本本社側で立案。その管理を実現するためのツールを検討した結果、安価で機能が充実していた SunSystems（サンシステム）を導入していただくことになりました。

本社側で考えていた管理項目は大きく4点。『四半期連結決算の早期化』、『グループ全体の知識の共有と伝達』、『統一的視点に立ったグループ全体での管理会計』、『システム管理コストの軽減』がありました。

これらを網羅するために、各国に対して、『統一したシステムの導入』、『勘定科目の統一』、『分析コードの統一（グループ共通の切り口）』を本社主導でプロジェクトを遂行していきました。SunSystems（サンシステム）はグローバル管理に必要な多通貨管理、多言語機能、複数会社処理、自由レポート作成機能があり、今回のプロジェクトに非常に効果的なシステムになりました。

韓国から導入を始めたプロジェクトは台湾、シンガポールと導入した後、最終的には日本にサーバーを置いて、各国から遠隔操作する管理方法を適用し、IT基盤の統一管理も実現させ、計2年間かかったプロジェクトは無事終了しております。

申込書 受付FAXNo. 03-5770-8810

お申し込み欄		<input type="checkbox"/> 資料送付希望	<input type="checkbox"/> 個別説明希望	<input type="checkbox"/> その他ご要望・ご質問（ ）
貴社名		ご所属		
御氏名		御役職		
E-Mail		TEL		
お問い合わせ先		グラントソントン太陽 ASG 株式会社 システム部 TEL:03-5770-8833 http://www.gtjapan.jp/service/system/sunsystems.html		